

「申立書」及び「学生交流等に係る合意文書」について

本学と学術交流協定のない研究機関への派遣を希望する場合は「1. 申立書」を作成し、学内申請時に応募書類と併せて提出が必要となります。また、セメスター型及び「交換留学生」以外の在籍身分で留学する場合で受入側・派遣側の両指導教員及び学生の3者において、授業料等が徴収されないことを確認している場合は「2. 3者による覚書」を作成し応募書類と併せて提出してください。

1. 申立書

派遣希望機関が、将来、東北大学（または該当部局）との学術・学生交流をするに値すること及び今後の交流を期待できることについて記載してください。申立書は、東北大学における指導教員の名前にて作成してください。所定の様式はありませんが、過去に作成した作成例①を添付しますので参考にしてください（作成例①は、協定のない大学からの学生を受け入れる際の例となっておりますので、ご留意願います。）

2. 学生交流等に係る合意文書

留学希望先と本学との間で学生交流協定の他、各部局で締結した学生交流に関する署名付きの合意文書（契約書等）が無い場合は、作成例②を参考に「学生交流等に係る合意文書」を受入側・派遣側の研究室間の両指導教員及び学生の3者の署名入りで作成してください。なお、授業料が発生しないよう交渉する場合、作成例②を利用することも可能です。また、留学希望者自身が東北大学指導教員の助力のもとに行うもので、留学生課、各部局担当係は関与しません。

平成 25 年 10 月 10 日

自然科学系学生交流実施委員会御中

所属・職名： 工学研究科 [REDACTED] 教授
氏 名： [REDACTED]

申 立 書

ParisTech (Institut des sciences et technologies de Paris) は、パリ近郊にある 10 の名高いグラン・ゼコールが連携した大学連合 (技術系高等教育機関) であり、2006 年 12 月の発足よりそれぞれの得意な研究・教育分野を補完しあうような連携を行っている。また、フランス政府が推進する大学間の連携方式である研究・高等教育拠点 (PRES: Les pôles de recherche et d'enseignement supérieur) の 1 つとしても、2007 年 3 月 21 日に認定されている。現在のパリテックの構成校は、

Ecole Nationale des Ponts et Chaussées (国立土木橋梁学校)

Ecole Nationale de la Statistique et de l'Administration Économique (国立統計経済学校)

Ecole Nationale Supérieure d'Arts et Métiers (国立工芸高等学校)

Ecole Nationale Supérieure de Chimie de Paris (国立パリ化学高等学校)

Ecole Nationale Supérieure des Mines de Paris (国立パリ鉱業高等学校)

Ecole Nationale Supérieure des Télécommunications (国立通信高等学校)

Ecole Nationale Supérieure de Techniques Avancées (国立先端技術高等学校)

Ecole Polytechnique (理工科学学校)

Ecole Supérieure de Physique et de Chimie Industrielles de la Ville de Paris (パリ市物理化学高等学校)

AgroParisTech (アグロパリテック: 農業系グランゼコール 3 校の合同体)

の 10 校となっている。これらのグラン・ゼコールはそれぞれの学校がフランス国内においては非常に高い評価を受けており、連合する事で各構成メンバーの持っている教育・研究の魅力を、同時にまた国際的なレベルでアピールする事が可能となっている。10 校連携により、学生数約 15000 名、教職員 3500 名の規模となり、またグラン・ゼコールを卒業後、フランスの各界で活躍する 12 万名以上もの卒業生のネットワークを活用できることが期待されている。

この度、短期集中型 COLABS 受入プログラムに参加申請をしている [REDACTED]

[REDACTED] さんは、この Paris Tech (University) の国立工芸高等学校に所属する優秀な学生である。Paris Tech は、現在、東北大学との間で学術交流協定を締結していない大学であるが、上述のように、フランスで名門の Engineering School であることを考慮し、[REDACTED] さんの受入の申請について、当該 COLABS プログラムの対象とすることにより、将来、東北大学または工学研究科との学術・学生交流推進が大いに期待できる大学であることをここに申し立て致します。

Memorandum of Understanding on Student Visit

Yamamoto Laboratory at the Institute for Materials Research, Tohoku University, Japan and the Green Energy Laboratory at the Physics Institute, University of Boston, USA agree that Ms. Hanako Suzuki, born on June 22, 2002, formally visits the Green Energy Laboratory to engage in and collaborate in researches on energy production in green technology from September 1, 2025 to December 31, 2025.

Ms. Suzuki is enrolled in the Master's program in the Graduate School of Engineering at the Tohoku university from April 1, 2024 to March 31, 2026 and supervised by Professor Taro Yamamoto of the Yamamoto Laboratory. Ms. Suzuki shall be supervised by Doctor Michael Smith of Physics Institute at the Green Energy Laboratory.

Ms. Suzuki shall be exempt from any application, registration, and tuition fees during her visit at the Green Energy Laboratory.

May 2, 2025

要署名

Michael Smith
Physics Institute
University of Boston

May 6, 2025

要署名

Taro Yamamoto
Professor
Institute for Materials Research
Tohoku University

May 6, 2025

要署名

Hanako Suzuki
Graduate School of Engineering
Tohoku University